

あるあるヘモフリッパ!

「ソーシャルディスタンス」



ソーシャルディスタンスing*

ソーシャルディスタンスing (Social Distancing) とは、感染症の感染拡大を防ぐために、人と人との間に物理的な距離を保つことです。

新型コロナウイルスは、感染しても症状が現れないことがあります。そのため、自分が新型コロナウイルスに感染していても、そのことを知らずに他者と接触してしまい、感染を広げてしまうことがあります。そこで、自分や他者への感染、ひいては社会全体の感染拡大を防ぐことを目的として、ソーシャルディスタンスingが推進されています。

また、互いに2メートル程度の距離を保つことに加えて、屋内では換気を行うことや、近距離での会話をなるべく避け、会話が必要なときはマスクをつけることも大切です。

*:「ソーシャルディスタンス」の用語も用いられますが、こちらは「人間同士の心理的な距離」のことを指す場合があります。一方、「ソーシャルディスタンスing」は感染予防に特化した用語で、「社会的距離確保」などと訳されます。



テレワーク



テレワーク

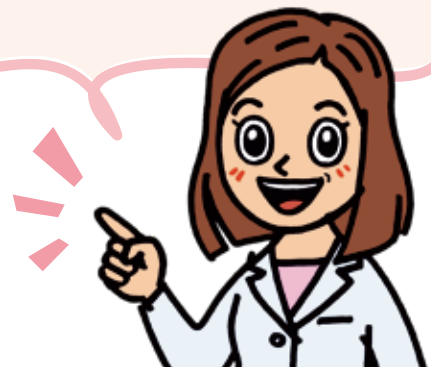
テレワークとは、インターネットなどの情報通信技術を利用することにより、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のことで、Tele(離れて)とWork(仕事)を組み合わせた造語です¹⁾。テレワークの特徴は、会社以外の場所においてもまるで会社のデスクにいるかのように仕事ができることです。

テレワークは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するという目的から多くの会社を導入された一方で、通勤時間を省略できるなど、ワーク・ライフ・バランス*の推進という面からも注目されています。

また、テレワークの普及とともに、オンラインで友達と交流したり学校の授業や習い事のレッスンを受けたりするなど、子どもたちの間でも新しい暮らしのスタイルが生まれています。

*: 仕事と生活の調和のこと

1) 厚生労働省 テレワーク総合ポータルサイト
(<https://telework.mhlw.go.jp/telework/>)



監修

しずおかけんりつ びょういん けつえきぎょうこ か
静岡県立こども病院 血液凝固科
小倉 妙美